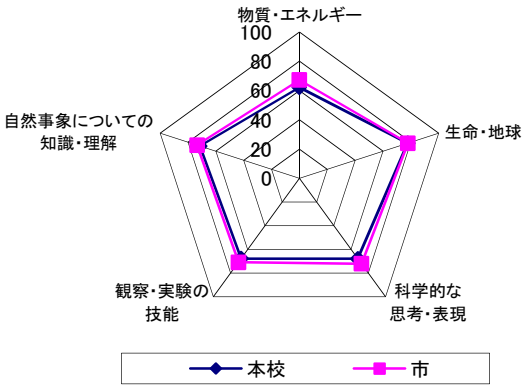


宇都宮市立岡本小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	62.1	67.2
	生命・地球	77.7	77.9
観点別	科学的な思考・表現	67.9	72.0
	観察・実験の技能	67.6	70.7
	自然事象についての知識・理解	71.5	73.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は宇都宮市よりも下回っている。特に、水溶液の性質と働きについての問題では、いずれも正答率が50%前後を示しており、理解が不十分と言える。また、物が燃えない理由を説明する問題でも正答率が50%を下回っている。	・前学年の学習内容については、それぞれ内容の重要事項を復習し、練習問題を解かせることによって定着を図る。また、水溶液の性質と働きに関しても、実験の様子を想起させ、リトマス紙の色の変化などを確認させる。さらに、実験においては、結果を生み出した理由について、自分で考えたり話し合ったりしてまとめる活動を取り入れる。
生命・地球	・平均正答率は宇都宮市とほぼ同程度である。植物のからだの働きや太陽と月の形の問題ではいずれも80%以上の正答率を示しており、おおむね定着していると言える。しかし、人の誕生や動物のからだの働きに関する知識を問う問題では、正答率が低いものもあり、理解が十分であるとは言えない。	・定着度の低い内容については、重要事項を復習し、練習問題を解かせることによって定着を図る。特に、人や動物の体の主な器官の名前や働きについて確認する。